

## 特別会計等歳入歳出総括表

(単位：千円)

No	名称	歳入（当初予算）			歳出（当初予算）			事業概要
		令和8年度	令和7年度	比較増減	令和8年度	令和7年度	比較増減	
1	国民健康保険特別会計	2,579,883	2,530,701	49,182	2,579,883	2,530,701	49,182	被用者保険における条件緩和や、後期高齢者医療制度へ移行する被保険者が多いため、国民健康保険における被保険者数は減少傾向にあります。 しかし、医療の高度化等により一人あたりの医療費は増加傾向にあるため、特定健康診査の受診率向上や糖尿病重症化を予防する保健事業などを実施し、医療費適正化の推進を図ります。
2	後期高齢者医療特別会計	438,310	382,234	56,076	438,310	382,234	56,076	75歳以上の後期高齢者が増加しているため、後期高齢者医療広域連合納付金が増加しています。 栃木県後期高齢者医療広域連合と連携し、後期高齢者医療保険の管理、給付、保健事業などを実施し、医療体制の確立を努め、高齢者の健康増進を図ります。
3	介護保険特別会計	2,400,462	2,349,542	50,920	2,400,462	2,349,542	50,920	介護認定者数は増加傾向にあり、介護サービスを必要とする利用者が増加しています。要介護状態になることを予防するため、運動教室の開催や気軽に集まる居場所を設置し、日常生活動作の向上や社会活動への参加を推進することで、心身機能の向上を図ります。
4	水道事業会計	収益的収支 600,579	588,250	12,329	587,877	578,157	9,720	収益的収支は、人口減少に伴い水道料金収入は減少しますが、道路改良工事に伴う水道管移設補償費により全体的な収入は増加する見込みです。支出については水道施設の維持管理費の増により増加する見込みです。 資本的収支は、光陽台地区の老朽管更新事業費の増により収支ともに増加する見込みです。
5	下水道事業会計	収益的収支 745,615	776,357	△ 30,742	733,410	763,761	△ 30,351	収益的収支は、下水道接続人口の増加に伴い使用料収入は増加しますが、国庫補助金等の減により全体的な収入は減少する見込みです。支出については下水道処理施設の維持管理費の減により減少する見込みです。 資本的収支は、宝積寺西町地区の汚水管渠整備事業費の減により収支ともに減少する見込みです。
	資本的収支 374,126	463,964	△ 89,838	613,629	699,500	△ 85,871		